



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 天満屋ストア

コード番号 9846

URL <http://www.tenmaya-store.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)野口 重明

問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)加島 誠司

(TEL)086-232-7265

四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日

配当支払開始予定日

平成27年11月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日~平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	37,116	△0.4	1,246	20.6	1,143	33.6	422	393.5
27年2月期第2四半期	37,250	△5.7	1,034	20.4	856	12.5	85	△60.4

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 442百万円(258.0%) 27年2月期第2四半期 123百万円(△45.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	36.58	—
27年2月期第2四半期	7.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	53,313	17,075	32.0
27年2月期	54,791	16,540	30.1

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 17,045百万円 27年2月期 16,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年2月期	—	2.50			
28年2月期(予想)			—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日~平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,600	△0.6	2,400	9.9	2,200	17.7	750	96.8	64.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期2Q	11,550,000株	27年2月期	11,550,000株
28年2月期2Q	565株	27年2月期	508株
28年2月期2Q	11,549,473株	27年2月期2Q	11,549,496株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続きましたものの、円安を要因とした物価上昇などにより日常消費への節約志向は依然として根強く、個人消費の持ち直しは一部にとどまり、回復を実感できないまま推移いたしました。

こうしたなか当社グループは、営業力の強化とローコスト運営の徹底による収益力の向上に取り組むとともに、コーポレート・ガバナンスの充実に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は371億16百万円(前年同四半期比0.4%減)、営業利益は12億46百万円(前年同四半期比20.6%増)、経常利益は11億43百万円(前年同四半期比33.6%増)、四半期純利益は4億22百万円(前年同四半期比393.5%増)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

#### (小売事業)

小売事業につきましては、「美味しい、楽しい、また来たい」と感じていただける店づくりを目指し、話題商品や地域密着商品及び値ごろ感のある商品の充実と商品管理の一層の強化による「適時、適品、適価、適量」への対応に注力してまいりました。また、平成27年4月に鴨方店(岡山県浅口市)を改装するとともに、天満屋百貨店とのコラボレーションによる「天満屋ショップ」を導入するなど、既存店舗の活性化による店舗競争力の強化に取り組むほか、「移動スーパーとくし丸」の事業エリアの拡大を図りました。この結果、当第2四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は336億11百万円(前年同四半期比0.7%減)、営業利益は9億72百万円(前年同四半期比32.2%増)となりました。

#### (小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発力の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は35億5百万円(前年同四半期比3.4%増)、営業利益は2億74百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億77百万円減少し、533億13百万円となりました。これは主に、流動資産が5億28百万円減少したことに加え、有形固定資産が4億57百万円減少したことや、投資その他の資産が4億15百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億13百万円減少し、362億37百万円となりました。これは主に、有利子負債が減少したことによるものであります。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億35百万円増加し、170億75百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ4億13百万円減少し、9億89百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ8億20百万円増加し、22億38百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が6億90百万円増加したことに加え、売上債権が減少したことなどによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ1億23百万円増加し、1億85百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が2億31百万円減少したことなどによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ15億12百万円減少し、24億66百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金の純減少などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、景気は引き続き緩やかな回復が見込まれますものの、海外経済の減速懸念など不透明感は拭えず、個人消費は本格的な回復に至らないまま推移するものと予想されます。当社グループといたしましては、このような厳しい環境のなかで、既存店舗の活性化や株式会社セブン&アイ・ホールディングスとの業務提携の推進による営業力の強化に引き続き取り組むとともに、リスク管理体制やコンプライアンスの強化にも取り組んでまいります。また、粗利益率の改善や販管費の一層の節約合理化による収益力の向上に注力するほか、人材の育成と組織の活性化にも努めてまいります。なお、平成28年3月1日付けで株式会社天満屋ハピーマート(当社100%子会社)を吸収合併することとし、両社の経営資源を結集することで、競争力の強化と経営効率の向上を目指してまいります。

なお、業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績値等を踏まえ、平成27年4月10日に公表いたしました平成28年2月期(平成27年3月1日～平成28年2月29日)の通期連結業績予想を修正しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(「退職給付に関する会計基準」等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が190,470千円減少し、利益剰余金が123,082千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,403,232	989,237
売掛金	1,795,212	1,567,367
営業貸付金	73,698	46,642
商品	3,727,450	3,508,838
貯蔵品	19,260	17,330
その他	1,514,546	1,868,385
貸倒引当金	△49,362	△42,712
流動資産合計	8,484,038	7,955,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,906,279	13,704,876
土地	16,231,518	15,962,545
その他(純額)	1,473,781	1,487,003
有形固定資産合計	31,611,579	31,154,425
無形固定資産		
のれん	452,773	420,927
その他	2,813,781	2,769,577
無形固定資産合計	3,266,554	3,190,504
投資その他の資産		
差入保証金	3,491,406	3,315,563
敷金	5,740,947	5,677,873
その他	2,210,665	2,031,325
貸倒引当金	△14,041	△11,460
投資その他の資産合計	11,428,978	11,013,301
固定資産合計	46,307,113	45,358,230
資産合計	54,791,151	53,313,321

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,158,906	3,487,206
電子記録債務	1,049,774	881,613
短期借入金	11,996,770	8,566,966
未払法人税等	521,579	395,570
賞与引当金	125,163	118,099
その他	2,955,042	3,624,721
流動負債合計	19,807,235	17,074,177
固定負債		
長期借入金	11,409,360	12,571,010
役員退職慰労引当金	71,180	73,990
利息返還損失引当金	141,200	123,810
退職給付に係る負債	1,727,484	1,533,573
資産除去債務	165,852	167,610
長期預り保証金	1,881,445	1,658,045
長期預り敷金	2,213,583	2,226,701
その他	833,362	808,725
固定負債合計	18,443,468	19,163,466
負債合計	38,250,704	36,237,644
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	7,402,578	7,919,294
自己株式	△414	△473
株主資本合計	16,447,163	16,963,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,894	184,414
退職給付に係る調整累計額	△100,055	△103,026
その他の包括利益累計額合計	66,838	81,388
少数株主持分	26,444	30,467
純資産合計	16,540,446	17,075,676
負債純資産合計	54,791,151	53,313,321



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	35,680,891	35,531,598
売上原価	26,656,250	26,600,090
売上総利益	9,024,640	8,931,507
営業収入	1,569,655	1,585,295
営業総利益	10,594,296	10,516,803
販売費及び一般管理費	9,560,251	9,269,948
営業利益	1,034,044	1,246,854
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,512	8,302
協賛金収入	773	15,121
その他	8,879	7,198
営業外収益合計	16,165	30,622
営業外費用		
支払利息	139,074	118,644
その他	54,962	15,158
営業外費用合計	194,036	133,803
経常利益	856,173	1,143,674
特別利益		
固定資産売却益	—	1,099
補助金収入	—	77,787
特別利益合計	—	78,887
特別損失		
固定資産除却損	17,208	77,493
固定資産売却損	—	125,848
減損損失	274,957	—
店舗閉鎖損失	173,087	—
退職特別加算金	139,329	—
その他	4,326	81,321
特別損失合計	608,909	284,663
税金等調整前四半期純利益	247,263	937,899
法人税等	156,427	510,168
少数株主損益調整前四半期純利益	90,835	427,731
少数株主利益	5,212	5,223
四半期純利益	85,623	422,507

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,835	427,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,708	17,520
退職給付に係る調整額	—	△2,971
その他の包括利益合計	32,708	14,549
四半期包括利益	123,544	442,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,331	437,056
少数株主に係る四半期包括利益	5,212	5,223

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	247,263	937,899
減価償却費	845,047	791,312
減損損失	274,957	0
のれん償却額	31,846	31,846
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,255	△9,231
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,761	△7,064
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△448,773	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△248
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△32,380	2,810
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△26,223	△17,389
受取利息及び受取配当金	△6,512	△8,302
支払利息	139,074	118,644
固定資産除却損	17,208	77,493
固定資産売却損益(△は益)	-	124,748
売上債権の増減額(△は増加)	△777,097	227,845
営業貸付金の増減額(△は増加)	74,354	27,055
たな卸資産の増減額(△は増加)	259,388	220,541
仕入債務の増減額(△は減少)	581,548	171,597
その他	543,682	210,589
小計	1,705,368	2,900,149
利息及び配当金の受取額	6,562	8,360
利息の支払額	△130,951	△119,780
法人税等の支払額	△163,766	△550,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,417,213	2,238,190
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△506,012	△274,214
有形固定資産の売却による収入	225,000	101,286
無形固定資産の取得による支出	△27,927	△19,720
貸付金の回収による収入	258	-
敷金及び保証金の差入による支出	△17,122	△17,537
敷金及び保証金の回収による収入	259,491	247,605
預り敷金及び保証金の受入による収入	20,771	19,713
預り敷金及び保証金の返還による支出	△263,292	△242,491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308,833	△185,359

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△920,000	△3,140,000
長期借入れによる収入	4,450,000	5,100,000
長期借入金の返済による支出	△4,261,475	△4,228,154
リース債務の返済による支出	△143,979	△119,616
自己株式の取得による支出	△25	△58
配当金の支払額	△28,873	△28,873
少数株主への配当金の支払額	△1,200	△1,200
その他	△48,431	△48,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	△953,984	△2,466,825
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	154,395	△413,995
現金及び現金同等物の期首残高	1,162,969	1,403,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,317,364	989,237

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。